戦火のかなた（1946）

PAISA
PAISAN［米］

メディア 映画
ジャンル ドラマ　戦争
製作国　イタリア
色彩　B&W
時間　114分
初公開日 1949/09/06
公開情報 イタリフィルム＝東宝

【解説】
　１９４３年７月、シチリアに上陸した連合軍によってイタリアの街は解放されていった。これは、その連合軍イタリア北上を軸に、各地で展開された戦争をめぐっての６つのドラマである。①シチリア。偵察隊の手引きをしてくれた村娘と共に城塞に残る米兵。気のいい彼は家族の写真を見せようとライターを点けるが……。②ナポリ。酔っ払った挙げ句に靴を盗まれた黒人ＭＰが、犯人の少年を捕まえて家に案内させるが彼がそこで見たものは……。③ローマ。米兵が知り合ったひとりの娼婦こそ、彼がかつてひそかに恋焦がれていた少女だった。だが、変わり果てたその姿に米兵はまるで気づかない……。④フィレンツェ。パルチザンの恋人が負傷したと聞き、前線へ向かう米軍看護婦。その彼女の目の前でひとりのパルチザンが撃たれた……。⑤ロマーニャ地方。山中の修道院に宿を求める三人の従軍牧師の前に、宗教の壁が立ち塞がる……。⑥ポー河畔。共に戦う連合軍兵士とパルチザン兵だが、彼らにもドイツ兵の魔手が迫っていた……。
　素人俳優を起用し、徹底したリアリズム・タッチで描き出した戦争群像で、「無防備都市」（45）と並んで、ロッセリーニの、というよりは戦後イタリアの生んだ傑作となっている。その圧倒的な迫力と胸をえぐるようなエピソードは、ドラマとしての見応えもさることながら、痛切に戦争での悲劇を物語る。日本初公開時は③のエピソードがカットされた９７分版であった。

【クレジット】

監督	ロベルト・ロッセリーニ	Roberto Rossellini
製作	マリオ・コンティ	Mario Conti
	ロッド・Ｅ・ガイガー	Rod E. Geiger
	ロベルト・ロッセリーニ	Roberto Rossellini
脚本	セルジオ・アミディ	Sergio Amidei
	クラウス・マン	Klaus Mann
	フェデリコ・フェリーニ	Federico Fellini
	アルフレッド・ヘイズ	Alfred Hayes
	マルチェロ・パリエーロ	Marcello Pagliero
	ロベルト・ロッセリーニ	Roberto Rossellini
撮影	オテッロ・マルテッリ	Otello Martelli
音楽	レンツォ・ロッセリーニ	Renzo Rossellini
出演	マリア・ミーキ	Maria Michi
	ガール・ムア	Gar Moore
	ドッツ・Ｍ・ジョンソン	Dots. M. Johnson
	カルメラ・サツィオ	Carmela Sazio

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ロバート・ヴァン・ルーン　Robert Van Loon
ハリエット・ホワイト　Harriet White
ジュリエッタ・マシーナ　Giulietta Masina

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.